

「給食プロジェクト」活動報告（6月実施）

1. 実施概要

遊佐中学校では、「地域の幸せと課題解決のハブ」を目指し、地域の大人が担任に代わって給食時間を共にする「給食プロジェクト」を本格始動させています。6月は以下の2回にわたり、多様な外部サポーターの皆様をお迎えしました。

- ・実施日：2026年6月11日（木）、6月24日（水）
- ・場所：遊佐中学校 各教室

2. 今回の参加者の皆様

- ・湧く湧くコーディネーター
- ・地域の町民の皆様
- ・地元企業（株式会社 幸輪）の皆様
- ・地域おこし協力隊
- ・元教員 等

3. 活動の様子と成果

山形県内 初 プロジェクト

・参加者の感想

幸輪の金子正次社長は「生徒の輪に入って食べながら話す体験が新鮮だった」と語り、こうした機会が定期的にあることで生徒との仲が深まることへの期待を寄せています。

・生徒の反応

「先生よりも話しやすかった。もっといろいろな人来てもらい、話を聞いてみたい」といった声が上がっています。仕事の話や部活動、授業の話題で盛り上がり、最初は緊張していた生徒も次第に打ち解け、「社会を知る貴重な機会」となりました。

給食プロジェクト 開始しました！

・教員のメリット

担任教諭が給食指導から離れることで、約1時間の休憩・事務時間が確保されました。これにより「授業の準備にも充てられ、仕事の効率アップにつながる」と、働き方改革としての確かな手応えを得ています。



詳しくはQRコードからご覧ください

遊佐中 給食プロジェクト



4. メディア掲載のご報告

本プロジェクトは「山形県内初の取り組み」として大きな注目を集めており、6月29日付の朝日新聞でも「先生の休憩時間確保・子どもらが社会知る機会に」という見出しで大きく報道されました。

5. 今後の展望

校長の石黒久は、「教員に少しでも自分の時間を持ち、メリハリをつけた働き方をしてほしい」として、今後も月2～3回のペースで継続していく方針です。地域全体で子どもたちを育み、学校を活性化させるこの一歩に、引き続き皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ

遊佐町立遊佐中学校 担当：今野大輔

・住所：〒999-8311 山形県飽海郡遊佐町小原田字上川原18番1

・電話：0234-72-2820

・学校HP：<https://yuzatyu.edumap.jp/>

遊佐中学校サポーター（順不同・敬称略）

竹本産業 月光川蒸留所 幸輪 利功 ゆぎ食彩工房

大阪有機化学 斎藤工業 渡部砂利工業所 今野工業

オオバ 大場建設 日本海運輸 東北旭段ボール

イースタン技研 斎藤モータース 荘内銀行 富